

群馬県産業

次世代に技術で挑む



豊富な自然が特徴の群馬県（利根川から群馬県庁を望む）

上州人に脈打つ モノづくり精神

群馬県の企業が地域に軸足を置きつつ、世界を舞台にした事業拡大に動きだした。製造品出荷額の3割強を占める自動車を中心とした輸送機器分野は東日本大震災後に着実に生産を回復。中長期の市場規模の縮小が避けられない国内では地道な合理化で生き残りを目指す。視線の先には成長著しい新興国市場が広がる。鍵を握るのは海外への追随を許さない先進の生産技術や環境分野といった新市場だ。



おひいき

群馬県知事 大沢 正明氏

東日本大震災は被災の範囲や規模が大きく、さらに電力供給の制約をはじめとする二次的な影響などもあり、本県経済に対しても大きな影響を与えた。震災後1年3ヶ月が経過し、一部の産業においては持ち直しの動きが見られるものの、長引く円高や電気料金の引き上げなどの影響もあります。県の調査結果では、県内経済の回復を実感している企業の数は、中小企業を中心にまだ少ない状況となっています。

企業誘致進め 次世代産業振興

企業誘致においては、企業の本社が集中する東京から100キロ圏内に位置しており、充実した高速交通ネットワークがあります。加えて、地震などの自然災害が少なく、豊かな自然環境に恵まれています。このような本県の優位性を活かし、これまで積極的に企業誘致を進めきましたが、特に、東日本大震災以降は生産拠点の分散化など、非常に備え

た企業の動きが見られるため、バックアップ機能誘致を取り組んでいます。こうした対策に加え、中長期的な視点から、人口減少による東日本大震災では、生産拠点の高めらための施策を進めています。

県では昨年度、次世代産業振興戦略会議を立ち上げ、技術力の向上や産業人材の育成など、国際競争力を持続的に推進し、次世代産業の振興に繋げていきます。さらに、アジアを中心と活動を行っており、今後

的に進めていくため、大学や試験研究機関等の研究シーズ発表や、産学官の交流イベント等の実施により、産業官連携を強力に推進し、次世代産業の振興に繋げていきます。

また、観光振興についても、観光振興について「群馬県国際戦略」を策定し、取組を進めています。

重点分野に定め、2011年は延べ37回にわたり、多くの観光客の促進農畜産物の販路拡大、企業のビジネス展開支援を3本の柱とし、来年3月に開催される「群馬県国際戦略」を策定し、取組を進めています。